

7月8日(木曜日)
ドル/円

イベントは豊富も決定打に欠ける？

7日(水)の主な推移

チャート: 30分足 7日(水)朝6時 ~ 8日(木)朝6時

ダウ平均株価

10018.28ドル
(+274.66ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.9857%
(+0.0500%)

NY原油先物

74.07ドル
(+2.09ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

- ① 仲値に向けて87.66円まで円安・ドル高が進んだものの、その後は日経平均の下落や序盤の欧州株が軟調だったことを受けてジリジリと円高が進む展開となった。
- ② 米ステート・ストリートが来週から本格化する米企業決算について楽観的な見通しを示したことを受け、金融株主導でダウ平均株価が上昇。場中も上げ幅を拡大する展開となる中、米長期金利も上昇すると、ドル/円もそれに連れてドル高・円安が進行した。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 86.95— 88.50円

本日、米国の経済指標は新規失業保険申請件数の発表が予定されており、先週発表分よりもやや減少するとの予想が出ている。予想より減少ならドル買い・円売り要因に、予想より増加ならドル売り・円買い要因になる見通しだ。また、英国及びユーロ圏では金融政策および政策金利の発表が予定されている。双方ともに特段の変更はないとみる向きが大勢だが、欧州中央銀行(ECB)のトリシェ総裁の記者会見には注目が集まっている。欧州金融機関のストレステストに関する目新しい発言があれば、ユーロに動きが出てくることもあり得る。その場合、ドル/円はユーロ/円及びユーロ/ドルの動きが綱引きする格好にはなるものの、何らかの影響が出てくることは否定できないため、押さえておきたいイベントと言えよう。

ただ、こうしたイベントも、ここ1週間ほどもみ合いが続くドル/円相場に方向感をつけるには、やや弱い印象が否めない。ドル/円はどちらかと言えば昨日7日と同様、主要国株価や米国の長期金利など主な手掛かりに動く公算が大きいとみる。来週から本格化する米企業の決算発表についての思惑がそろそろ株価の方向性に影響すると考えられるため、報じられる決算見通しなどには注意を払っておきたい。(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/8(木)	20:00	○	(英) BOE政策金利発表	0.50%	0.50%
	20:45	○	(ユーロ圏) ECB金融政策発表	1.00%	1.00%
	21:30	○	(米) 7/4までの週の新規失業保険申請件数	47.2万件	46.0万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com